

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 のびっくらんど三春

職員数 5 名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	基準上適正であり、構造化するなど配慮しています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1	保育士を2名配置しています。	今年度より職員5名体制で行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5		玄関スロープや点字ブロック、多目的トイレを設置しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		職員全員で参加しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		定期的アンケートに実施し、ご要望を踏まえて改善や内容の見直しをしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		ホームページで公表しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5	保護者による評価表を基に、業務の見直しや改善に努めています。	今後第三者による外部評価が実施できるように努めて参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		専門的研修と保護者向けのサロンに参加し、積極的に学んでいます。	感染症に対応しzoomを導入し、オンラインの研修も行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		面談や利用アンケートなどで保護者様やお子様のニーズを分析し、個別計画書に反映させています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	アセスメントツールは利用しているが、標準化はされていない。(適応年齢の関係で)	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		集団指導、個別指導においてもチームでアプローチしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		保育士が工夫して立案しています。	お子様の希望を取り入れたリクエスト課題も行います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		電話相談や訪問などきめ細やかに支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		必ずミーティングを行い、わからないことは事前に確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		気づいた点、保護者からの情報など常にスタッフ間で話をしながら共有するようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
関係機関や	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		相談支援事業所と連携し、参加を呼びかけています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5		保護者と共有しながら下校時間の調整などこまめに対応しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5		医療的ケア児は受け入れていないが、連絡体制は整っています。	現在該当するお子さんはいないが、今後受け入れする場合は、チームを作り適切な支援を行っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5		送迎時に連絡事項まどを行うようにしています。	

、保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5		ケア会議を実施し移行支援をしています。	サポートブック等を活用していきます。またサポートブックの書き方を支援します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		たむら地方児童発達支援センターと連携を取っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	感染予防を徹底し交流の機会を設けていきます。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5		自立支援協議会の子ども部会と事業所部会に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		子どもの様子を連絡帳などを利用して丁寧に伝えていきます。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		ペアレントトレーニングプログラムへの参加を促すなど機会の提供を行っています。	情報をこまめには発信していきます。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		保護者からの相談があった場合は自分だけではなく、スタッフ全員で対応に努めて参ります。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		毎月の課題予定表に日時、場所を記載しております。	のびっこサロンを開催し、誰でも参加できるようにしています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		管理者、スタッフ間で解決に向けすぐに話し合いをするようにしています。	法人内に苦情解決委員会を設けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		広報誌の記事を作成し定期的に発信しています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	5		契約時に個人情報の取り扱いに関する書面を用いて説明しています。また職員に対する研修を実施しています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		絵カードや写真カードを用いてわかりやすく伝えていきます。またパソコンを活用し情報伝達に努めています。	タブレットを用いた療育ができるよう環境を整えていきます。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5		見学や行事に地域の方を招待して事業所を知ってもらえるように工夫しています。		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		各自マニュアルの整備に努め、職員全員に周知しています。また事業所内に設置しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		年間を通して防災訓練の計画をしており、防災訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		虐待防止研修に積極的に参加しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5		このような事例は今のところありません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		保護者、家族に契約時必ず確認して、書面に記載して頂き、職員間で共有しています。	アレルギー調査を行い、アレルギーのあるお子さんに対して対応をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		常に職員間で情報交換をし共有しています。	